

青少年健全育成のつどい 小中学生による作文発表

9日



ゆめりあで青少年健全育成のつどいが行われ、小中学生8人が「ゆめ・希望・願い」を題材とした作文発表と新十津川農業高校生による意見発表が行われました。

また、タッチケアセラピスト中島直子さんによる「触れることで生まれる自己肯定感」と題した講演も行われました。

6月1日 ～30日

Town Topics

まちの できごと

新小運動会・新中体育大会 みんなが主役 みんなが活躍

17日



ロボットトラクター見学会 ドローン・自動運転トラクター 最新技術がここに

18日



新十津川農業高校園場で、新小児童と新十津川農業高校生約330人を対象に、農薬散布用ドローンや北海道に1台しかない自動運転トラクターの走行実験や説明が行われました。

子どもたちは、最新の農業用機械が動いている様子を興味津々で見学していました。

とっぴ子どもゆめクラブ 「森をつくろう」 大きく大きくな～れ

15日



ふるさと公園内創造の森でクラブ会員54人が参加し、栗の苗木を1人1苗植えました。

子どもたちは、植え方の説明を受けた後、スコップなどを使って丁寧に苗木を植えました。なお、今回植えた苗木は3年後に栗が収穫できる予定です。

陶芸まつり 全道各地から自慢の作品大集合

15・16日



改善センターで、第25回新十津川陶芸まつりが開催され、2日間で約4500人（昨年より1000人増）が来場しました。

全道各地の陶芸家が自慢の作品を出展し、展示販売を行いました。

会場では、陶芸体験や農産物の販売なども行われ、来場者を楽しませていました。



酒米シロップパンが給食に初登場 柔らかくておいしい！

28日



新小、新中、新十津川農業高校などで酒米シロップパンが給食提供されました。

町は日本酒を造る際に出た酒米粉を利用して、甘味料（シロップ）を開発しました。酒米の甘味料（シロップ）が使われたコップパンは、普通のパンより甘みがあり、柔らかく仕上がります。

子どもたちは「柔らかくていつものパンと違う。」「また食べたい。」と話していました。

災害ボランティアセンター 設置運営等に関する協定 町と社会福祉協議会 連携協力

18日



災害時に設置、運営するボランティアセンターについて、新十津川町社会福祉協議会と協定を結びました。

ボランティアセンターは災害時にボランティアの受け入れや現場への派遣などの役割を担うこととなります。

子育て支援センター 「大人レクリエーション」

12日



子育て支援センターで、大人レクリエーションが行われ、子育て中の方5人が参加しました。

参加者は日頃の忙しさを忘れ、カードゲームやテーブルゲームなどで盛り上がりました。

なお、この日は子育てボランティア「だっこの会」による託児が行われました。

食と健康教室 日頃の食生活に活かせるように

11日



ゆめりあで、文京区民を対象とした食と健康教室が開催され、7人が参加しました。

「糖분을控えて、糖尿病を予防しよう」をテーマに、講話と調理実習が行われました。

参加者はしらたきごはん、ヘルシーハンバーグなど5品の調理実習に真剣に取り組んでいました。